

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第1区分

【発行日】令和6年4月9日(2024.4.9)

【国際公開番号】WO2023/042922

【出願番号】特願2023-548528(P2023-548528)

【国際特許分類】

B 0 5 D 7/04(2006.01)

B 3 2 B 27/16(2006.01)

B 3 2 B 25/08(2006.01)

B 3 2 B 33/00(2006.01)

B 0 5 D 7/24(2006.01)

B 0 5 D 3/06(2006.01)

C 0 9 D 201/00(2006.01)

C 0 9 D 5/00(2006.01)

B 2 9 C 65/02(2006.01)

B 3 2 B 27/00(2006.01)

10

【 F I 】

B 0 5 D 7/04

B 3 2 B 27/16 1 0 1

B 3 2 B 25/08

B 3 2 B 33/00

B 0 5 D 7/24 3 0 1 T

B 0 5 D 3/06 Z

C 0 9 D 201/00

C 0 9 D 5/00 Z

B 2 9 C 65/02

B 3 2 B 27/00 E

20

【手続補正書】

30

【提出日】令和6年1月12日(2024.1.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

コアシェルゴムを含む樹脂組成物(b)から形成される第一の層を含むフィルムの製造、及び

40

前記第一の層を含むフィルム上に、活性エネルギー線硬化樹脂を含む樹脂組成物(a)を塗工及び硬化する第二の層の製造を含む多層フィルムの製造方法であって、

前記第二の層の厚みが35 μm以下である、多層フィルムの製造方法。

【請求項2】

コアシェルゴム及び反応性基含有樹脂を含む樹脂組成物(b)から形成される第一の層を含むフィルムの製造、及び

前記第一の層を含むフィルム上に、活性エネルギー線硬化樹脂を含む樹脂組成物(a)を塗工及び硬化する第二の層の製造を含む多層フィルムの製造方法。

【請求項3】

アクリル樹脂を含む樹脂組成物(b)から形成される第一の層を含むフィルムと活性エ

50

ネルギー線硬化樹脂を含む樹脂組成物 ( a ) から形成される第二の層とを含む多層フィルムと、メラミン基材とを有する積層体であって、前記第一の層を含むフィルムがメラミン基材側となるように積層された積層体を、加熱及び加圧することによる、前記第一の層を含むフィルムとメラミン基材との接着を含む、メラミン化粧板の製造方法。

【請求項 4】

第一の層を含むフィルムとメラミン基材との前記接着の前に、前記多層フィルムを介在物なしに巻かれたロールから巻き出すことを含む、請求項 3 に記載のメラミン化粧板の製造方法。

【請求項 5】

樹脂層 ( I ) と層 ( X ) とを含む多層フィルムであって、  
前記樹脂層 ( I ) は活性エネルギー線硬化樹脂 ( A - 1 ) を含み、  
前記層 ( X ) はアクリル樹脂を含み、  
測定温度 1 0 0 、周波数 0 . 1 H z における前記層 ( X ) の貯蔵弾性率  $E'$  が 1 0 M P a 以上 2 0 0 0 M P a 以下である、多層フィルム。

10

【請求項 6】

前記層 ( X ) が、コアシェルゴムを含む、請求項 5 に記載の多層フィルム。

【請求項 7】

前記樹脂層 ( I ) の厚さが 3 0  $\mu$  m 未満である、請求項 5 に記載の多層フィルム。

【請求項 8】

前記樹脂層 ( I ) の厚さが 1  $\mu$  m 以上である、請求項 5 に記載の多層フィルム。

20

【請求項 9】

前記活性エネルギー線硬化樹脂 ( A - 1 ) が紫外線硬化樹脂 ( A - 1 A ) を含む、請求項 5 に記載の多層フィルム。

【請求項 1 0】

前記活性エネルギー線硬化樹脂 ( A - 1 ) が電子線硬化樹脂 ( A - 1 B ) を含む、請求項 5 に記載の多層フィルム。

【請求項 1 1】

前記樹脂層 ( I ) が、アクリル系樹脂及びウレタンアクリレート系樹脂からなる群から選択される少なくとも 1 種の樹脂をさらに含む、請求項 5 に記載の多層フィルム。

【請求項 1 2】

前記樹脂層 ( I ) と前記層 ( X ) とが接しており、前記アクリル樹脂が反応性基を有する単量体単位を含む反応性基含有樹脂を含む、請求項 5 に記載の多層フィルム。

30

【請求項 1 3】

前記反応性基含有樹脂のガラス転移温度が 6 0 以上 1 5 0 未満である、請求項 1 2 に記載の多層フィルム。

【請求項 1 4】

前記反応性基を有する単量体単位が、アミノ基に対する反応性基を有する単量体単位及びメチロール基に対する反応性基を有する単量体単位からなる群から選択される少なくとも 1 種の反応性基を有する単量体単位を含有する、請求項 1 2 に記載の多層フィルム。

【請求項 1 5】

前記反応性基含有樹脂 1 0 0 質量% に対する、前記反応性基を有する単量体単位の含有率が 3 質量% 以上である、請求項 1 2 に記載の多層フィルム。

40

【請求項 1 6】

アクリル樹脂を含む樹脂層 ( I I ) をさらに含み、前記層 ( X ) が前記樹脂層 ( I ) と前記樹脂層 ( I I ) との間に設けられ、前記樹脂層 ( I I ) に含まれる前記アクリル樹脂が、反応性基を有する単量体単位を含む反応性基含有樹脂を含む、請求項 5 に記載の多層フィルム。

【請求項 1 7】

前記反応性基含有樹脂のガラス転移温度が 6 0 以上 1 5 0 未満である、請求項 1 6 に記載の多層フィルム。

50

**【請求項 18】**

前記反応性基を有する単量体単位が、アミノ基に対する反応性基を有する単量体単位及びメチロール基に対する反応性基を有する単量体単位からなる群から選択される少なくとも1種の反応性基を有する単量体単位を含有する、請求項 16 に記載の多層フィルム。

**【請求項 19】**

前記反応性基含有樹脂 100 質量% に対する、前記反応性基を有する単量体単位の含有率が 3 質量% 以上である、請求項 16 に記載の多層フィルム。

**【請求項 20】**

請求項 5 ~ 19 のいずれか 1 項に記載の多層フィルムを備えるメラミン化粧板用保護フィルム。

10

**【請求項 21】**

請求項 5 ~ 15 のいずれか 1 項に記載の多層フィルムの前記樹脂層 ( I ) と反対側の面にメラミン基材が積層される、メラミン化粧板。

**【請求項 22】**

請求項 16 ~ 19 のいずれか 1 項に記載の多層フィルムの前記樹脂層 ( II ) 側の面にメラミン基材が積層される、メラミン化粧板。

20

30

40

50